

県医労新聞

2018年12月
盛岡市内丸11番1号
岩手県医療局労働組合
電話 019-623-8271
FAX 019-623-8273
URL <http://www.iwate-ken-irou.org/>
編集発行人
中野 るみ子
毎月1回発行1942号(月刊156号)



県医労フレッシュセミナー（10月27日～28日 ホテル志戸平）

目次

- 1 P 本部団体交渉
県医労中央決起集会
 - 2 P 看護指導監との懇談
組織拡大キャンペーン
 - 3 P 災害対策全国交流集会 in いわて
地公共闘・総務部長交渉
 - 4 P 退勤時間調査
岩手医労連壮年部集会
 - 5 P フレッシュセミナー
青年部ニュース
 - 6 P つぶやき、とんがらし
10月号パズル当選者
 - 7 P お知らせ
 - ◇女性部沖縄ツアー
 - ◇青年部スキー・スノボ交流集会
- 懸賞パズル 12・1月の予定



県医労中央決起集会(11月2日)

本部団体交渉 1年ぶりに開催

「宿直勤務の改定は協議していく」

1年ぶりとなる本部団体

交渉が11月14日(水)11時から泉金物産で開催されました。冒頭、イエローカード157枚(14支部・本部)を中野委員長から医療局長へ手交。併せて、12月の団交

開催を求めました。

団交は、年末年始など5項目にわたり交渉しました。

年末年始について医療局長は、「非番はやむを得ず割り振っているものであり、できるところは割り振らなくても良い。できるだけ休んでほしい」と述べました。救急医療体制については、

長時間労働、過労死が懸念される改定内容に対し、組合側からは、①三交代制、②一夜2勤務、③夕方から1勤務+朝までの宿直の3パターンを提案。医療局長は「みなさんの意見で調整し協議していく。継続した協議の中で、どうしても時は(白紙撤回も)あるかも

しれない」と応えました。

人事異動については、毎年、異動が叶わず退職者が出ている実態について、医療局長は「医療局にとっても損失であり本意ではない。話し合いをしっかりとるよう話している」とするものの、内々示の復活については、「考えていない」との回答に終わりました。

組合が指摘してきたパワハラについて、医療局長は「内容は伝わっている。これからその都度、職員課に連絡を入れてほしい」と話しました。

12時間二交代については、組合との合意がないまますすめられている問題を質しました。

医療局長は、現場の実態を見ろー！ 年末年始を働きやすくしろー！！

11.2県医労中央決起集会に53人参加



年末年始の労働条件の改善、救急医療体制の抜本的改善などを求め、県医労秋年末闘争中央決起集会を11月2日(木)に開催し、14支部・本部などから53人が参加しました。

決起集会は、10時から水産会館大会議室で開会。現場から「お疲れさまの言葉もなく、働きづらい。救急車対応が増え、外来が大変だ」「年末年始の勤務について、まず非番を割り振らないで勤務割を作成できるか検討させている」「夜勤専従の勤務で誤りがあり、当局が訂正した。体調不良者が多く、9日夜勤が増えている」など、深刻な実態が報告されました。

その後、医療局棟前に移動し、現場の実態をしっかりと見て対応せよ、年末年始の労働条件を改善せよとシュプレヒコールをあげました。集会には、岩手医労連、いわて労連、医大職組から支援を受けました。

職員へのねぎらいの言葉が大事

看護指導監との懇談



高橋看護指導監

10月24日、盛岡市のサンビルで看護指導監との懇談が開催され、3支部・本部8名が参加。職場の状況や実態について訴えました。

「正循環」の周知を

いくつかの病院で労使協議もなく「12時間二交代」勤務が推し進められている実態について、看護指導監は「BSCで掲げている11病院は、将来的になるのではないか、ということであつて、目標としているものではない。メリット・デメリットがあり、お互いに歩み寄ってやって欲しい。また、採用時に二交代を希望する人もいる。選択肢のひとつと

して考えて欲しい」と話しました。また、看護協会のガイドラインでも正循環を取り上げていることから、正循環をすすめて欲しいことを強く訴えると「今後正循環を周知させていく必要がある」と述べました。

超過勤務はやみくもにお願いするしかない

2つの病院で発生したパワハラについて、情報は医療局にも伝わっており、それぞれ対応したことが明らかとなりました。看護指導監は「本人は感じていないかもしれないが、言い方ひ



職場の声を訴える参加者

とつてハラスメントになつてしまう。職員へのねぎらいの言葉が大事」と話しました。また、上司の時間管理のあり方について協議。超過勤務を請求できていない、仕事した分に関しては超過勤務として認めて欲しいことを組合から訴えると、看護指導監は「超過勤務はやってくれとお願いするしかない。一番削減できるの

は看護記録ではないか。管理職も疲弊しながら働いている。総看護師長は、現場をほとんど見れていない状態。皆さんの声を聞きながらやっていきたい」と述べました。懇談の中で、看護指導監は「職員へのねぎらいの言葉を」という発言を繰り返しました。参加者からは、全病院に伝えて欲しいとの声が聞かれました。

なかま増やして要求実現!

県医労組織拡大キャンペーン

1

～1/31

分会1名以上の加入で
分会に**みかん1箱**進呈

2

～3/31

非正規の加入者には
クオカード1,000円進呈

3

～3/31

支部の中央委員数の加入で
支部へ**クオカード2万円**進呈

さらに
日本医労連共済の
キャンペーンを
プラスすると

新規加入で1,000円分、学習会・説明会の参加者に500円分のクオカード進呈。自動車の見積みも取ったら500円分、加入したら1,000円分のクオカードがもらえます。

災害対策全国交流集会inいわて

被災者・被災地の声を 生かした人間復興を！

東日本大震災から7年8ヶ月となる11月11日～12日、災害対策全国交流集会が大槌町「ホテルはまぎく」で開催され、遠くは熊本県（熊本地震被災地）をはじめ22都道府県から170名が集いました。今回の副題は「岩手のたたかいに学ぼう」「被災者に寄り添った岩手の県や市町村のとりくみと教訓を学び、全国の被災地でいかしていく」です。



会場全体で基調講演に聞き入る参加者

基調講演は「東日本大震災から8年目の今を考える」と題し、岩手大学名誉教授で岩手県の復興委員会・委員長の齋藤徳美氏が話されました。齋藤氏ははじめに、防災工学の専門としてたずさわってきた中、岩手では6千人ものいのちが犠牲になったことに「じくじたる思い」があると強調。東日本大震災津波災害の実相やこれまでの津波防災対策、何故多くの犠牲を出したのか、復興の現状と課題について語りました。『想定外』という言葉が使われるけれど研究者の立場から言えば、掘れば出てくる活断層の日本において、そもそもわかっていないところの方が多い。数千年から



オープニングで演奏する「大槌子どもオーケストラ」

数万年の自然現象に、我々の観測はたった140年。『私たちの未来責任』として、社会の在り方を考えていこう」と結びました。

被災地からの報告は、7月の「西日本豪雨災害」の状況を広島・岡山・愛媛から、9月の「北海道胆振東部地震」の状況が北海道の参加者からありました。シンポジウム「被災者、被災地の声をいかした復興」をテーマに、福島・宮城・岩手を代表し3名のシンポジストが発言されました。翌日は5つの分科会が行われました。

地公闘 交渉終了

給与改定 12月議会へ

11月6日、地公闘は最終局面となる総務部長交渉を行いました。交渉に先立ち、知事宛要請署名7,236筆を手交しました。

総務部長の回答は次のとおりです。

1. 月例給・一時金
12月議会に提案。差額支給はできるだけ早く支給する。
2. 現給保障対象者対策
高齢層職員には心苦しい。何か工夫できることないかという視点で取り組みを進めるよう要請する。
3. 通勤手当の改善
遠距離通勤者の自己負担解消に当たり、高速道路利用の見直しも距離区分新設と併せて検討を進める。

4. 休暇制度の拡充

職員のワークライフバランスの観点から検討する。不妊治療と仕事の両立支援は、休暇を取得しやすい職場環境の醸成をはかっていく。

県医労は任命権者(医療局長)との交渉を経て、最終確定となります。



10.31県庁座り込み行動で、交渉団を支援

「ただ働き」してない？

退勤時間調査 実施中！



二戸支部



宮古支部



中央支部



磐井・南光支部



署名もガンバってます



胆沢支部では10月29～31日の3日間、延べ23名が参加して「夜勤改善・大幅増員」署名に取り組みました。

釜石支部



「不払い労働一掃」めざし、今年も退勤時間調査に取り組みました。釜石支部は、10月30～31日の二日間、ハロウィンの仮装で実施し、職員を和ませました。中央支部は「夜勤改善・大幅増員」署名もあわせて行いました。その他、宮古・二戸・磐井・南光・二戸・江刺・千厩・中部・大槌支部が実施しています。時間外を請求しない理由には「15分以内だから」「請求時間を指定されている」などが記載され、自由記載欄には「看護師が足りない」「身体がボロボロ」など、深刻な実態が寄せられました。

岩手医労連第55回壮年部集会開催 まだまだこれから！壮年部

11月3～4日、岩手医労連第55回壮年部集会が「ホテル紫苑」（盛岡市つなぎ）で開催され、全体で80名、県医労からは12支部・本部40名が参加しました。

1日目の記念講演は、テレビでお馴染みの料理研究家でテレビレポーターの千葉星子さんが、取材で訪れた地元の人との交流や食にまつわるエピソードを紹介し、参加者を引きつけました。とても役立つ講座は今年も医労連共済、年金制度が設けられ、中高年ならではの質問や笑いがありました。夜の懇親会は替え歌や踊りで盛り上がり、明日への活力を養いました。

岩手医労連第55回壮年部集会



◆◆◆県医労フレッシュセミナー◆◆◆

学んで交流してスツキリ!!

10月27日・28日、県医労フレッシュセミナー（新入組合員労働学校）がホテル志戸平で開催され、9支部・本部28名が参加しました。開校式では、中野委員長と〇〇青年部長があいさつ。セミナーでは「県医労のあゆみ」「労働者・労働組合そして県医労」「権利について」の講義、労働組合のDVDを鑑賞しました。青年部役員が担当したレクリエーションや夕食交流会を通して次第に緊張もほぐれ、楽しく交流ができました。グループ討議では、各病院・職場での働き方や職場実態を共有し、「働いた分はしっかり超過勤務を請求していききたい」「自分の権利を行使して、年次休暇を今よりも取得していきたい」などの感想が参加者から出されました。



グループに分かれて職場の状況を交流

参加者の感想

- ◇権利を知らず、損したことがありました。
- ◇日頃の悩みを話すことができてよかったです。スツキリしました。
- ◇労働組合の凄さを感じました。業務の辛さを感じたら相談していききたいです。
- ◇みんなが権利を行使しやすい環境をつくっていききたいです。

青年部長・書記長会議

仲間の輪をひろげよう

10月24日、フレッシュセミナーと並行して、4年ぶりとなる青年部長・書記長会議を開催し、8支部・本部青年部13人が参加しました。

会議では、各支部の取り組みを交流。南光支部からは、「メーデー看板づくり、世界大会の折り鶴作成に毎年取り組んでいる。新年会や学習会も企画し、今後も青年部活動を盛り上げたい」と発言。大船渡支部からは、「飲み会等を企画して、お互いの顔を覚えることから始めたい」と話されました。支部定期大会については、「議案書を作成できるテンプレートが欲しい」などの要望も出されました。



ここ数年、支部での青年部役員体制確立がされていないことも影響し、4年前と比較しても各支部の青年部活動が少なくなっている現状があります。本部青年部行事に各支部からペアやグループで参加したり、知り合いどうしで飲み会を開催するなど、「まずは日程を決める」ことから始めようとの思いを胸に、会議を終えました。

つばざき

私の病棟はあと数カ月で閉鎖となります。赤字病院なので収支を考えると仕方ないですが、地元としては残念です。

一戸支部 ひたすらトド

お盆が終わったと思ったらお正月。年末年始の勤務が公平であるようお願いのみです。

山田支部 やってられない

「無理したその先は病休になる」く本当にそうだなと思います。みんなが楽に働ける環境がほしいです。政府のみなさん！

磐井支部 ひよこ

子どもの運動会を見て、成長に感動しました。自分も年をとり、子どもの成長を喜ぶ毎日です。

中央支部 かぼちゃのおぼけ

10月1日～15日に時間外労働の時間調査がありました。きちんと書く目に見えて時間がわかって驚きます。

江刺支部 みかん娘

子どもの病院受診にも付き添えないなんて、何でもナースになったんだろう。これじゃ、子どもに職業としてすすめられない。

月1回のみの休み希望って何？子どもの行事で埋まるのに。自分のためなんて

夢のまた夢。これじゃ、もう一人子どもがほしいなんて思えない。

一戸支部 リンゴは金田一

夏季休暇を利用して富士山に登った。自然の偉大さを肌で感じ、同時に人間の欲深さについて改めて考えた。

中央支部 葡萄が好き



当選者発表

10月号パズル

10月号パズル「まちがいは7つ」には30名の応募があり、全員が正解でした。厳正なる抽選の結果、次の10名が当選されましたので図書カードを贈ります。

■10月号当選者(敬称略)

リンゴは金田一(一戸支部)、しらたき、ももま、猫大好き(以上、中央支部)、みかん娘、(江刺支部)、ひよこ(磐井支部)、二度と飲ま(南光支部)、みーちゃん(大東支部)、ジャンボうさぎ(大船渡支部)、夢みるおばちゃん(宮古支部)

とんがらし

「それはタクシー運転手の勤務シフトと同じではないか？当時、在職死亡が多発していた何故なのかを調べたら、1日で2日分働いて、1

日休むという勤務だった。過労死を生む勤務シフトといわれた。これは、医療局が提示した「宿直勤務等の改正について」の感想を述べた弁護士の最初の言葉です。いわゆる「圧縮勤務」や「夜勤」がいかに身体負担となり、有害なのかを表しています▼医療局当局の「宿直勤務の改正」の内容は、いくつもの問題を含んでいます。最も大きな問題として、看過できないことは「長時間労働」の上、さらに「当直」を強いられるということ。1日は24時間。朝8時30分に出

勤後、深夜2時まで(通常の「勤務」だという。そして翌8時30分までの残りは「当直」。この勤務シフトが、毎日交代で365日続けられることを想像してみたい▼「karoshi」が日本初の英語としてオックスフォード・オンライン英語辞典に載ったのは2002年1月のこと。その後も、労働時間の増加と睡眠時間の減少が指摘されている。「奴隷状態」の進化」とも表現されている▼今から160年前(明治維新の頃)イギリスでは、機械化により女子や児童労働が蔓延。当時の有産階級の平均寿命は35年。労働者は15年(資本論)。労働時間は8時間の意味は大きい▼過労死を容認するような、「長時間労働」+「宿直」ではなく、安心して働き続けられる労働条件を、みんなのでつくりあげていこう。(る)

安比に行こう。

スキー×スノボ交流会

場所：安比高原温泉ホテル
2019年1月19日(土)～20日(日)
18時～夕食交流会・二次会あり
※2次会の飲み物については、各自で持参をお願いします。

※お問合せ 県医労本部

TEL：019-623-8271

プログラム

◇ 温水プール	1200円	◇ 一般コースレッスン	(1000～1200/1330～1530)
◇ マシンジム	1000円	半日：4500円(スノーボード)	
◇ プール＆ジム	1700円	1日：7000円(スノーボード)	
◇ スカッシュコート	2000円	※スキーの場合は、価格が異なります。	
◇ シューズレンタル	300円	レベル1(初級)～レベル5(上級)	
◇ リラクゼーション	1240円	レッスン申し込み：0195-73-5958	
※メニューについては、HPをご覧ください。			

◇リフト券不要の方は、各プログラム3000円まで補助します。
◆現地で精算できない場合は、領収書と引き換えに後日精算します。

県医労女性部結成60周年記念

2019年
2/28
(木)

2019年
3/2
(土)

※メ切り 2018年12月28日



参加費

67,000円

定員 30名

スケジュール

1日目：仙台空港～三日月～高松城
2日目：高松城～高松城～高松城～高松城
3日目：高松城～高松城～高松城～高松城
4日目：高松城～高松城～高松城～高松城



懸賞パズル

上下どちらかの絵に7つの間違った箇所の印をつけ、ハガキに貼付して、応募して下さい。正解者の中から、抽選で10名の組合員に図書カードを送ります。送先は〒020-0023 盛岡市内丸1-1、県医労「懸賞パズル」係まで。締切は12月末日(必着)です。また、抽選には関係ありませんが、ハガキの余白に「つ

12月の予定

- 1日(土) 薬剤師・臨床検査技師・診療放射線技師合同会議(公会堂)
- 7日(金) 拡大支部長会議(県民会館)
- 8日(土) 第63回はたらく女性の岩手県集会(公会堂)
- 8日(土)～9日(日) 岩手医労連組織拡大強化・共済推進会議(ホテル花巻)
- 12日(水) 看護部会(県民会館)

1月の予定

- 5日(土) 県春闘共闘年次総会・旗開き(サンビル)
- 18日(金) 支部長会議(ホテル森の風鷹宿)
- 19日(土) 県医労新春旗開き(ホテル森の風鷹宿)
- 19日(土)～20日(日) 県医労春闘学習会(ホテル森の風鷹宿)
- 26日(土) 県医労青年部スキー・スノボ交流会(安比高原温泉ホテル)
- 岩手医労連中央委員会(水産会館)
- 岩手医労連旗開き



まちがいは7つ



ぶやき」(職場の話題など何でも)を、ぜひ一言お書き下さい。県医労新聞で紹介する場合があるので、匿名希望の方は必ずペンネームをお忘れなく！

